

一般質問

区政をきく

(一般質問)

平成25年第2回定例会では、区政全般について、10名の議員が一般質問を行いました。以下、概要をお知らせします。



向めぐ美 議員 (民・改)

風しんの緊急対策について

①現在の風しんの流行について②どのように捉えているのか。③更なる緊急対策が必要とされているのか。④どうして男性の助成対象は、妊婦の夫のみなのか。⑤国や都どう連携を図っていくのか。⑥区から国や都へ、接種費用の助成や最新の確な情報提供を求める声をしっかりと上げるべきでは。⑦現行の緊急対策に加えて、風しん根絶に向けた長期的かつ抜本的な対策が必要だと考えるが、所見は。

①現在の風しんの流行について②どのように捉えているのか。③更なる緊急対策が必要とされているのか。④どうして男性の助成対象は、妊婦の夫のみなのか。⑤国や都どう連携を図っていくのか。⑥区から国や都へ、接種費用の助成や最新の確な情報提供を求める声をしっかりと上げるべきでは。⑦現行の緊急対策に加えて、風しん根絶に向けた長期的かつ抜本的な対策が必要だと考えるが、所見は。

①厚生科学審議会の専門部会では、子宮頸がんワクチンの接種を奨励しないという結論を出したが②この結果をどう捉えているのか。③今後どのようなスタンスで、子宮頸がんワクチン事業を進めていくのか。④子どもの予防接種のスケジュールはかなりタイトで、同時接種を行わないと任意接種も含めて30回にもなる場合がある。小児科や内科等で対応が可能と考えているのか。⑤内科で子宮頸がんワクチンを接種してくれるなど利便性は向上しているが、専門外の病院で対処できるのか不安という声も耳にする。副反応への対処方法について、区と医師会などの連携等は。

①子宮頸がん検査の細胞診で早期発見につながるかと考えているのか。②日本では死亡率の低下に重きを置いているように感じるが、子どもを産む世代からすれば、子宮の温存は最重要ポイントであり、精度の高い検査を受けたいと願う。子宮頸がん検査の精度を更に高めるため、細胞診に加えてHPVウイルス検査の併用を実施し、また、助成等も同時に行っていくべきだと考えるが、予定はないのか。③今年度の夏から厚生労働省のHPV検査助成がスタートするが、品川区として手を挙げる予定はないのか。④区民の検診率向上のため、子宮頸がん検査の休日受診や夜間受診の枠を広げるべきでは。

①子宮頸がん検査の細胞診で早期発見につながるかと考えているのか。②日本では死亡率の低下に重きを置いているように感じるが、子どもを産む世代からすれば、子宮の温存は最重要ポイントであり、精度の高い検査を受けたいと願う。子宮頸がん検査の精度を更に高めるため、細胞診に加えてHPVウイルス検査の併用を実施し、また、助成等も同時に行っていくべきだと考えるが、予定はないのか。③今年度の夏から厚生労働省のHPV検査助成がスタートするが、品川区として手を挙げる予定はないのか。④区民の検診率向上のため、子宮頸がん検査の休日受診や夜間受診の枠を広げるべきでは。

①子宮頸がん検査の細胞診で早期発見につながるかと考えているのか。②日本では死亡率の低下に重きを置いているように感じるが、子どもを産む世代からすれば、子宮の温存は最重要ポイントであり、精度の高い検査を受けたいと願う。子宮頸がん検査の精度を更に高めるため、細胞診に加えてHPVウイルス検査の併用を実施し、また、助成等も同時に行っていくべきだと考えるが、予定はないのか。③今年度の夏から厚生労働省のHPV検査助成がスタートするが、品川区として手を挙げる予定はないのか。④区民の検診率向上のため、子宮頸がん検査の休日受診や夜間受診の枠を広げるべきでは。

①子宮頸がん検査の細胞診で早期発見につながるかと考えているのか。②日本では死亡率の低下に重きを置いているように感じるが、子どもを産む世代からすれば、子宮の温存は最重要ポイントであり、精度の高い検査を受けたいと願う。子宮頸がん検査の精度を更に高めるため、細胞診に加えてHPVウイルス検査の併用を実施し、また、助成等も同時に行っていくべきだと考えるが、予定はないのか。③今年度の夏から厚生労働省のHPV検査助成がスタートするが、品川区として手を挙げる予定はないのか。④区民の検診率向上のため、子宮頸がん検査の休日受診や夜間受診の枠を広げるべきでは。

大井第一地区区民まつり(桜新道)



HPVウイルス併用検査について

①子宮頸がん検査の細胞診で早期発見につながるかと考えているのか。②日本では死亡率の低下に重きを置いているように感じるが、子どもを産む世代からすれば、子宮の温存は最重要ポイントであり、精度の高い検査を受けたいと願う。子宮頸がん検査の精度を更に高めるため、細胞診に加えてHPVウイルス検査の併用を実施し、また、助成等も同時に行っていくべきだと考えるが、予定はないのか。③今年度の夏から厚生労働省のHPV検査助成がスタートするが、品川区として手を挙げる予定はないのか。④区民の検診率向上のため、子宮頸がん検査の休日受診や夜間受診の枠を広げるべきでは。

暮らしを壊すアベノミクス 消費税増税中止、賃金引き上げで経済を元気にする消費増税対策を



石田ちひろ 議員 (共産)

①景気が良くなったとの根拠は何か。②賃上げを実施した中小企業への支援と、大企業への賃上げ要請を。③消費増税引き上げ中止を政府に要請しては。④中小企業の原材料費高騰対策を。

①景気が良くなったとの根拠は何か。②賃上げを実施した中小企業への支援と、大企業への賃上げ要請を。③消費増税引き上げ中止を政府に要請しては。④中小企業の原材料費高騰対策を。

①景気が良くなったとの根拠は何か。②賃上げを実施した中小企業への支援と、大企業への賃上げ要請を。③消費増税引き上げ中止を政府に要請しては。④中小企業の原材料費高騰対策を。

①景気が良くなったとの根拠は何か。②賃上げを実施した中小企業への支援と、大企業への賃上げ要請を。③消費増税引き上げ中止を政府に要請しては。④中小企業の原材料費高騰対策を。

①96条改憲反対の表明を。②区長は村山談話の植民地支配と侵略等の事実を認める立場か。③維新の会橋下氏の暴言に抗議すべきでは。④即時原発ゼロを政府に求めるべきでは。⑤ホットスポット測定の再開と給食の牛乳測定等を。 総務部長 ①国政の場で議論すべきだ。②見解は差し控える。③国の責任で判断すべきだ。④小中学校で測定しており、基準値を下回っている。牛乳測定は業者責任で検査をしており、給食食材は測定回数を増やすつもりはない。

①南品川の国有地を購入し、認可保育園等の実現に充てては。②他の国有地を購入し、多様な要望実現のための計画策定を。③区民要望調査を実施し、採算がとれない路線は、コミュニティバスの運行を。 企画部長 ①多面的な検討による総合的な判断が必要であり、慎重に検討していく。②地域公共交通会議の中で議論していくべき事項と考える。

①区教委は体罰の実態をつかんでいなかったのか。②体罰根絶宣言をしていながら、なぜ体罰が起きたのか。③区教委は「根絶を図るための取り組み」を発表したが、教職員が悩みを出し合い、話し合えるようにすること、また、PTAや地域を含めた根絶のための話し合いの場を持つこと。

①無料定額診療事業が品川でも広がるよう支援を。②成人歯科健診を、15歳から毎年実施しては。③歯科口腔保健の推進に関する法律に則って自治体として方針・目標・計画を早急に定めるべきでは。 健康福祉事業部長 ①各医療機関の判断で行う事業だ。②20・30歳代は、虫歯予防等は自己管理が基本だと考える。③都が策定する際は、区との連携のもとに行うとされてお

大井第一地区区民まつり(桜新道)